



橙の里

DAIDAI NO SATO

多賀小学校だより
令和6年8月28日
電話 68-2105

校訓「夢は大きく
はばたけ多賀っ子」

学校教育目標 「考えを伝え合おう みんなのためにやってみよう」

やってみよう

なんとかなる

ありがとう

ありのまま

合言葉は 「やってみよう」 「なんとかなる」

夏休みは、「思い出に残る素敵な体験」ができたでしょうか。地方新聞には、多賀小の子どもたちの活躍ぶりがたくさん掲載されていました。神社のお祭りの舞いやお囃子、鹿島踊りの練習をする姿など、地域の一員として皆様に見守られていることに感謝いたします。また、普段の練習の成果が発揮された少年野球、絵画教室・森の学校・勾玉づくり・寺子屋等市主催の行事参加など、心に残る体験であったことが紙面の表情からも分かりました。

夏休みは、パリオリンピックで活躍する日本人選手の姿に元気づけられました。メダルを取った方々のこれまでの歩みが紹介されるたび、決して小さい頃から天才ではなく、心身ともに鍛え、周りの方の支えに感謝しながら苦難を乗り越え努力を続けてきた結果が自信となって輝きを増していると感じました。とことん追求するものを子どもたちにも見つけてほしいです。

子どもたちの2学期への挑戦も始まります。未来のウェルビーイングを願い、4つの合言葉「やってみよう」「なんとかなる」「ありがとう」「ありのまま」の心地よさを体感できるよう支援していきます。1学期末の学校評価アンケートの結果から多賀っ子の値が低かったのは、「主体性」でした。昨年度と比較し「学習の場面の主体性」や「自力解決」の評価は上がりましたが、『自分から役割を見つけ』ということに自信がないようです。運動会の準備を含めて好機ととらえ、子どもが自己決定をして行動できたことを振り返り、自信につなげていきたいと考えています。教職員も具体的によさを価値づけて認めていきますので、ご家族からも声をかけていただきたいです。

始業式では、「なんとかなる やってみよう」を合言葉に失敗や挑戦する気持ちの大切さを話しました。うまくいかないことがあって当たり前。やってみようと挑戦する仲間を応援し、みんなで乗り越える経験を重ね、生き生きと学校生活を送ることができるよう今後とも応援をよろしくお願いします。

【校長 國原 尋美】

運動会に向けて！

1学期の終業式では運動会実行委員と各色の応援団の紹介がありました。2学期から、運動会に向けて係会や応援練習、演技や競技の練習が本格的にスタートします。1学期中にどんな運動会にしたいか実行委員会を開き、話し合いを行いました。実行委員、応援団員の願い、そして多賀っ子一人一人の思いを叶える運動会を多賀っ子全員で創っていきます。各色の応援団長は以下の通りです。

- ・紅組応援団長 石川 愛基さん(6-1)
- ・白組応援団長 加藤 竜也さん(6-2)

実行委員長 田村 蓮佳さん(6-1)



スクールカウンセラー来校日 カウンセリングを希望される方は担任、または教頭までご連絡ください。
【9月】6(金) 【10月】11(金) 25(金) 【11月】8(金) 29(金) 【12月】6(金)